

運営方法・入会申込要領

1. 運営方法

- ・ご入会いただきますと、年間7回の例会(定例会6回と特別例会1回)にご参加いただけます。
- ・各例会の開催日の約1ヶ月前に、例会案内状の送付先として登録した方々に対して詳細な案内状を送付(E-mail送信)いたします。登録した方が出席できない場合は、代理出席も可能です。また、ニーズに応じて複数名のご参加も可能です。

2. 年会費(1機関当たり、税込み)

会員企業 66,000円 会員労組 33,000円
 一般企業 77,000円 一般労組 38,500円

【会費支払方法】

最終例会(第7回例会)終了後、ご請求書を郵送いたしますので、請求書に記載の四国生産性本部口座へ振り込みをお願いいたします。振込手数料は、貴組織にてご負担願います。

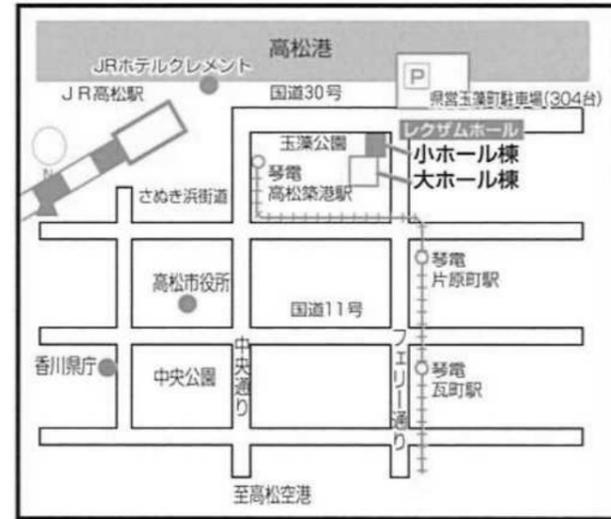
3. 入会申込

当本部ホームページにて承ります。下記「入会申込方法」のとおりです。なお、年度途中の入会も随時受け付けております。その際の会費は、特別例会を除く未開催例会の数で按分計算させていただきます。

個人情報の取扱いについて

- (1) 参加申込によりご提示いただきました個人情報は、当本部の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護の徹底に努めます。なお、当本部個人情報保護方針の内容については、当本部ホームページ (<https://www.spc21.jp/>) をご参照願います。参加されるご本人、申込責任者の皆様におかれましては、内容をご確認・ご理解の上、お申込みいただきますようお願いいたします。
- (2) 個人情報は、本研究会に関わる参加者名簿等の作成ならびに当本部が主催・実施するサービスのご提供や事業のご案内のために利用させていただきます。但し、法令に基づく場合などを除き、第三者に開示、提供することはありません。
- (3) 個人情報の開示、訂正、削除については、総務広報部個人情報保護担当窓口 (tel 087-887-0512) までお問い合わせください。

会場案内図



レクザムホール (香川県民ホール)
 高松市玉環町9-10
 TEL (087) 823-3131

交通

- JR高松駅より徒歩10分
- 琴電高松築港駅より徒歩8分
- 琴電片原町駅より徒歩10分

お問合せ先

四国生産性本部「労使研究会」係 (担当: コンパリング部 富田)
 〒760-0033 高松市丸の内2-5 (ヨンデンビル)
 TEL. (087) 887-6404 FAX. (087) 851-4270
 HP: <https://www.spc21.jp/>
 E-mail: toiawase@spc21.jp

労使共通の今日的課題を研究する

労 使 研 究 会

2023年度

日程 2023年5月～11月

テーマ 会員企業及び労組の方々にアンケートを行い、関心・ニーズの高いテーマを選定しております。

第1回	“ジョブ型”の明暗を分けるものはなにか？ 人材開発と組織開発の観点から考える“ジョブ型”導入後の課題と対策
第2回	フィードバック力と心理的安全性を高めるマネジメント変革 ～全員がリーダーシップを発揮する組織を作る～
第3回	(1) 「働きやすさ」から「働きがい」へ ～EX向上に舵を切った当社の取り組み事例～ (2) 労働組合起点の職場づくり実践 ～心理的安全性データ活用と対話活動の推進～
第4回	納得性のある人事評価のための職場コミュニケーション ～リモート時代に合わせた技法, 変わらぬ本質～
第5回	なぜ必要？何が必要？ ～治療と仕事の両立支援のために会社ができること～
第6回	労働力不足を乗り越え、人材の活性化を実現 「ミドル・シニアの躍進」を実現するためにできることは
第7回 (特別例会)	DX時代に社員から選ばれる「働きたくなる会社」とは ～労働各法を戦略的に活用し、DX時代に合致した「多様な働き方」を実現～

対象者 企業・団体の人事労務部門責任者・管理者・担当者及び労働組合の役員・リーダー

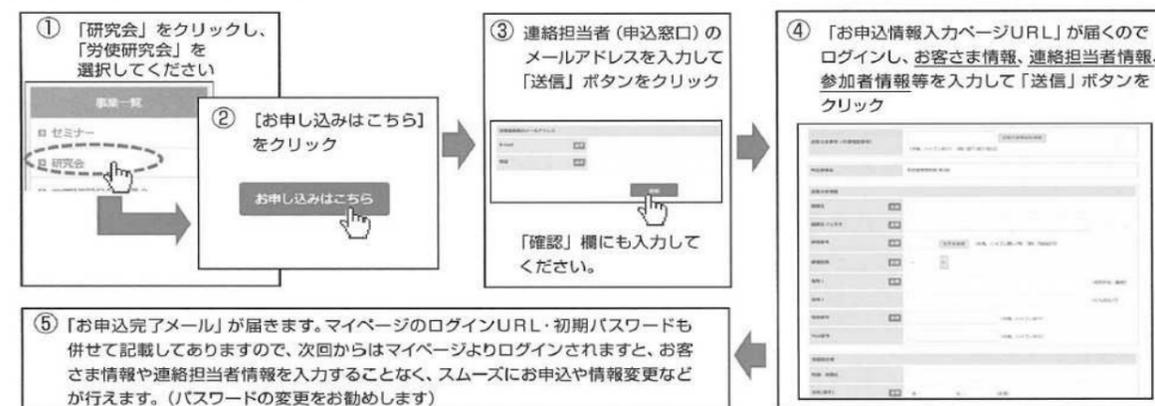
場所 レクザムホール(香川県民ホール) 大ホール棟 5階 第1・2会議室

「労使研究会」入会申込方法

当本部のホームページ (<http://www.spc21.jp/>) から以下の手順でお申込ください。

既にマイページをお持ちの方はマイページからログインしてお申込ください。

【マイページをお持ちでない方のお手続き方法】



※30分以内に申込み完了メールが届かない場合は受付ができていない可能性がありますので、当本部までお問い合わせください。

主催: 四国生産性本部

ホームページ: <https://www.spc21.jp/>

2023年度 活動計画

【第1回例会】 2023年5月9日(火) 13:30~16:30

テーマ “ジョブ型”の明暗を分けるものはなにか？
人材開発と組織開発の観点から考える“ジョブ型”導入後の課題と対策

講師 アチーブメントHRソリューションズ株式会社 コンサルタント 笠原 雅也 氏

視点 ジョブ型人事制度へシフトする企業が増えている中、企業によって明暗が分かれています。その分かれ目を決めている要因として、ハードとソフトの連動の視pointsの欠如があります。人事制度は、無形の要素であるヒトの考え方や能力、人間関係やコミュニケーションなどのソフト面との連動なくして、十分に機能しません。本例会では、ジョブ型人事制度への転換を正解にするための人づくりと組織づくりの在り方を解説していただきます。

【第2回例会】 2023年6月9日(金) 13:30~16:30

テーマ フィードバック力と心理的安全性を高めるマネジメント変革
～全員がリーダーシップを発揮する組織を作る～

講師 株式会社シェイク 代表取締役社長 吉田 実 氏

視点 イノベーションを起こすには経営者や管理職だけではなく、社員一人ひとりがリーダーシップを発揮できる組織風土と人材育成が欠かせません。本例会では組織風土変革のための「マネジャー育成」を解説していただきます。実際の取り組みや課題など、健全なフィードバック文化が育つ真の心理的安全性やマネジャーの行動を変えるポイントについて、具体的なアプローチを解説していただきます。

【第3回例会】 2023年7月19日(水) 13:30~16:30

テーマ 「働きやすさ」から「働きがい」へ ～EX向上に舵を切った当社の取り組み事例～

講師 株式会社日立ソリューションズ
経営戦略統括本部 チーフエバンジェリスト 伊藤 直子 氏

視点 働き方改革やデジタル化が進み、多くの企業で「働きやすさ」は向上してきています。しかし、それだけではエンゲージメントの向上にはつながりません。多様な従業員一人ひとりが仕事を通じて「成長」や「働きがい」を実感できることをめざし「EXの向上」に注力している、日立ソリューションズの取り組み事例をご紹介します。

テーマ 労働組合起点の職場づくり実践 ～心理的安全性データ活用と対話活動の推進～

講師 富士フイルムビジネスイノベーション労働組合 中央執行委員長 宮原 隆治 氏

視点 社会・会社の大きな環境変化の中で「疲弊感の高まり」「エンゲージメントの低下」など課題が顕在化している職場も見られます。人的資本経営や人材育成、離職防止などの観点からも、“職場づくり”の重要性はより高まっています。今回は「実際に職場を変えたい」「活動への仲間の関与を高めたい」という労働組合の思いからスタートした、心理的安全性データを活用した職場対話による“職場づくり”実践事例をご紹介します。

【第4回例会】 2023年8月17日(木) 13:00~17:30 ※通常と時間が異なります。

テーマ 納得性のある人事評価のための職場コミュニケーション
～リモート時代に合わせた技法, 変わらぬ本質～

講師 神戸大学 経済経営研究所 准教授 江夏 幾多郎 氏

視点 人事評価は企業にとっても従業員にとっても重要度が高いにも関わらず、多くの場合満足がいく形で運用されていません。その最たる原因は、企業・職場・従業員個人にとって合理的な目標の設定や修正、従業員の目標達成のための上司や企業による支援や動機付けがうまくいっていない点にあります。必要な事柄について長年にわたって指摘されてきたにも関わらず、なかなか実施されていません。また、リモートワークの導入等の業務環境の変化は、人事評価の進め方に影響していますが、変化にどう対応すればいいかについては知見がまだ十分に蓄積されていません。本例会では、納得性のある人事評価に向けた考え方について解説していただいた上で、参加者同士の動議を通じて考え方についてのより深い理解を目指します。

【第5回例会】 2023年9月15日(金) 13:30~16:30

テーマ なぜ必要？何が必要？ ～治療と仕事の両立支援のために会社ができること～

講師 一般社団法人 仕事と治療の両立支援ネット・ブリッジ 代表理事 服部 文 氏

視点 高度化する医療環境の中、がんのような大きな病気になっても質のいい日常生活を送れる人が増えています。しかし、突然の病気は本人にとっても会社にとっても寝耳に水。混乱のまま退職を選ぶことも少なくありません。労働人口が減少する中、国の施策でもある「仕事と治療の両立支援」について具体策で備えましょう。

【第6回例会】 2023年10月11日(水) 13:30~16:30

テーマ 労働力不足を乗り越え、人材の活性化を実現
「ミドル・シニアの躍進」を実現するためにできることは

講師 立教大学 経営学部 助教 田中 聡 氏

視点 労働力不足が深刻化する今、限られた人的資本でいかに生産性を維持・向上していくか。その鍵を握るのが「ミドル・シニア(中高年)」社員です。これまでベールに包まれていた「ミドル・シニアの人材開発・キャリア開発」について、人事や現場の管理職はどんな取り組みを行えばいいのでしょうか。感情論や経験則ではなく研究知見とエビデンスに基づいて、これからのミドル・シニアの躍進に必要な打ち手をご紹介します。

【第7回例会】 2023年11月2日(火) 13:30~16:30 ★特別例会

テーマ 「DX時代に社員から選ばれる「働きたくない会社」とは
～労働各法を戦略的に活用し、DX時代に合致した「多様な働き方」を実現～」

講師 社会保険労務士法人 スマイング 代表特定社会保険労務士 成澤 紀美 氏

視点 新型コロナウイルス感染防止対策として、急速に普及拡大した「リモートワーク」をはじめとする企業の「DX」への取り組みは、我々の働き方・意識に大きな変化をもたらすとともに、企業と従業員との関係性も変わりつつあります。これに伴い、企業の人事・労務担当部門には、人事制度・評価や労働時間管理、安全衛生対策などの領域において、これまでになく変化への対応が求められています。本例会では、労働各法を基本とした人事・労務施策や、システムエンジニアの経験を生かしたITサービス活用のポイントや、多様な働き方で実現する「社員から選ばれる「働きたくない会社」」について、お話しさせていただきます。